

取扱説明書 User Guide

GoSafe 115 Compact Driving Recorder



2. 使用するMicroSDHCカードについて

- 容量8GB以上、速度Class 6以上のMicroSDHCカードをご使用ください。
- 使用前にMicroSDHCカードをフォーマットしてください。
- 使用するMicroSDHCカード容量によって記録可能な時間が異なります。

MicroSDHCカード容量	HD 720p /30fps時 参考記録時間
8GB	2 時間
16GB	4 時間
32GB	9 時間

3. 電源ケーブルについて

GS115は、専用の電源ケーブル以外を使用すると正常に動作しない場合があります。必ずパッケージに付属の12/24Vシガープラグケーブルを使用し、本体側面にあるUSB充電対応端子に接続してください。

参考情報

保証対象外となりますが、車両電源に直接電源コネクタを接続して使用する場合は下記点にご確認ください。

- 必ずレギュレーターを残して手でケーブルをカットしてください。
- 赤いケーブルが+12V (アクセサリ)、黒いケーブルがGND (アース) です。



3.本製品ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、必ず電圧変換を十分ご配慮ください。
電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障や壊れる・エンジン故障や事故の原因になります。詳しくない方は、必ず、車改造の業者や専門店の方にご相談ください。

1.はじめに

1.1 パッケージ内容

ご購入前にパッケージ内容がそろっているか最初にご確認ください。



安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

- 下記の表示は、誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。
- | | |
|-----------|------------------------------|
| 警告 | 死亡または重傷を負う可能性があります。 |
| 注意 | 怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。 |

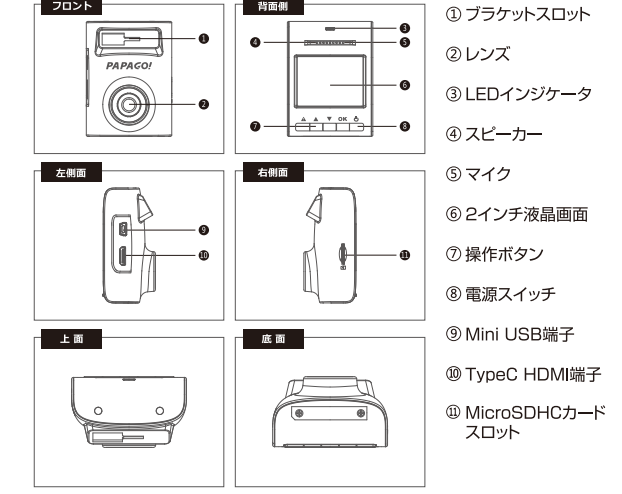
●お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

禁止事項 (やめてほしい内容です)	指示事項 (実行・遵守いただきたい内容です)
禁止 運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。 前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。 コードを噛みませたり、引っ張ったり傷つけたりしない。 ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。	指示 安定した場所に設置・固定してください。 固定されていない状態および不安定な状態での使用は、急ブレーキなどの際、機体ゆがみや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。 取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。
指示 規定容量のヒューズを使用してください。 必ず製品の規定容量のヒューズをご使用ください。	禁止 ケーブルを引っ張らないでください。 引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
指示 音量にご注意ください。 電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げておく、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	禁止 停車中に長時間使用しないでください。 エンジン停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

警告

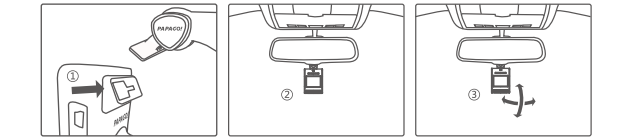
禁止 規定電圧以外で使用しないでください。 当製品はDC12V~24Vマイナスアース専用です。規定外の電圧・電圧での使用は発火・感電等の原因となります。	指示 車を離れる時は電源を切ってください。 車種により、エンジン停止状態でもラダーロック時に常時給電されている車種があります。 ご利用にならない時はシガープラグを抜いてください。
水が禁止 水をかけたり、濡らさないでください。 内部に水が入ると故障・発火・感電の原因となります。	禁止 高温にご注意ください。 高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。 発火・故障・変形等の原因となります。
禁止 運転の妨げになる場所に設置しない。 視界を妨げたり運転操作に支障の及ぶ場所には設置しないでください。 視界不全、操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。	

1.2 本体各部説明



2.3 取り付け説明

事前に貼り付け位置のガラスを乾いた布でよく拭き、汚れ、油分、水分を取り除いてください。



- ベースブラケットと本体のブラケットスロットにスライドして取り付けてください。
- ベースブラケットの粘着シール保護フィルムを剥がし、適切な位置に貼り付けてしっかり押さえて固定します。(24時間以内に移動しないでください)
- 適切な撮影角度を調整してください。

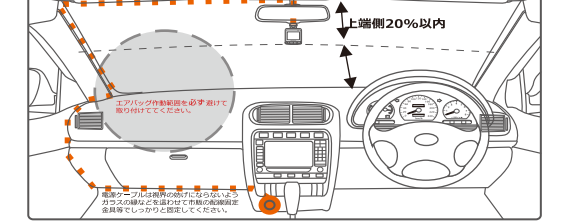
指示 エアバッグにご注意ください。 エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。 エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。	指示 シガープラグを定期的に点検してください。 シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。 汚れによって動作不全や発火・感電等を引き起こす原因になります。
禁止 故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。 発火・感電等の原因となります。	禁止 運転中は操作しないでください。 走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。 また、手動録画操作等の際には周囲の安全を十分に確認してから操作を行ってください。
禁止 分解・改造しないでください。 感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。	

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記録内容の変化、消失など)に関して当社は一切の責任を負いかねます。
万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、慌てず周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証いたしません。
- 万一、映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合、また映像内容の詳細が判別できないことによる損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機は、事故の検証に役立つ一つのツールとして、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。
- 昼間に日差しや夜間にライトアップの画面など反してガラスホート等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- LED式信号機に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前撮りの映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

2. 取り付け/取外し

2.1 取り付け位置の確認



- フロントガラスの上下幅の20%の範囲内に取り付けてください。
ご使用になる車種によって実際に取り付け場所が多少異なります。ご使用になる車種によって、特に視界を妨げなく録画記録が出来る位置でも問題はありません。
-
-

3. 使い方

本製品はお客様にご満足且つ快適にご使用頂けるため、万全な設計と高品質管理で作られてきた製品です。ただ、天候状況や明るさなどに、録画された映像がはっきりしないもしくは映像保存エラーが発生し、一部製品の安全機能も正常稼働出来ない場合もございますので、予めご了承ください。
例えば、
※急激に明るさが変わる場合
※日光の影と陽射しの逆光が強い場合
※車走行中の揺らぎ・振動など
※悪天候(大雨、雪、強風、濃霧、夜間など)
※夜の光源が全くない極端な場合など

- #### 3.1 起動～録画開始
- 電源コードがシガープラグに差し込まれている事を確認します。
 - 電源コード先端のMini USB端子を本体USBコネクタに差し込みます。
 - MicroSDHCカードをスロットにしっかり差し込みます。
 - 電源スイッチを押してパワーONします。

- #### 3.2 初回起動時
- 初回起動時は言語、地域及び現在時刻の設定を行ってください。

- #### 3.3 電源OFF～録画終了
- 電源スイッチを5秒以上押し、パワーOFFします。電源ボタンを3秒以上長く押し、再度パワーONします。
 - MicroSDHCカードの取り外しは、完全に電源が切れた事を確認してから行ってください。

3.4 LEDインジケータ

LEDカラー	状態
緑 常時点灯	パワーON
赤 常時点灯	録画中
赤 二回点滅	①衝撃を感知し自動でバックアップ ②microSDHCの容量がいっぱいになったら、古いデータから上書きされます
赤 点滅	録画できない ①microSDHCが保存できない ②microSDHCの容量不足 ③microSDHCがフォーマット エラー ④他の機種でフォーマットを行ったmicroSD

- 2.降雨時に鮮明に記録可能なよう、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- 3.フロントガラス縁の着色部やアンテナ・熱線などのワイパー埋め込み部を選び、視界の妨げにならない場所を選択して取り付けてください。
- 4.エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けてください。

エアバッグ作動範囲にご注意ください
エアバッグ作動範囲内に取り付けた場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝突やエアバッグ作動の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。

本製品取付、配線時注意事項:

- 本製品及び接続ケーブルを車内に配線頂く前に、必ず動作確認を行ってから配線してください。
- ケーブル類を配線するときは、車両側部品との噛みこみに注意し、突起物に当たらないようご注意ください。
※本製品の破損や漏電、事故・火災・感電等の原因となります。
- 取付完了後は、ブレーキ・ライト・ホーン・ウィンカー等すべての電装品が正常に動作することを確認ください。
- 車内配線に未経験の方は、必ず整備工場や専門業者に相談の上、取付けを行ってください。
万一上記問題がございましたも当社と致しましては、一切責任は負いかねますのでご注意ください。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前撮りの映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

本製品は使用方法に間違いがなかった場合でも、画像やデータの記録を完全に保証するものではありません。本体に保存されたデータの消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。

- 本製品の仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

使用注意事項

- #### 1. 使用法
- エンジン停止してもシガーライターに給電されている車両の場合、車内バッテリーの放電防止の為、未使用時にはシガープラグを必ず抜いてください。
 - エンジン停止後やアクシデントにより電源が切断された際に一定時間録画状態を保てるように本体内部にバックアップ電源を搭載しています。また、本体の電源OFF後もシステムおよびファイル保護の為、電源は即座には切れません。
 - 本体電源OFF後は前述のようにファイル保護の為、シャットダウン処理中の場合があります。完全に電源が切れるまでMicroSDHCカードを抜かないでください。MicroSDHCカード内のファイル破損MicroSDHC カード自体の破損等につながる可能性があります。

3.5 各ボタンの機能

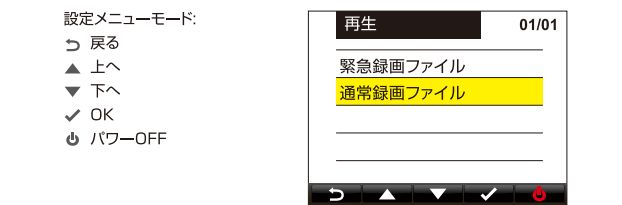
ボタン外観	動作	ボタン外観	動作
	録画モード:緊急録画スタート 再生モード:再生 設定メニュー:戻る		録画モード:録画再生 再生モード:上へ 設定メニュー:上へ
	録画モード: ①メニュー ②長押し3秒で静止画を撮影		録画モード:モニタ画面OFF 再生モード:再生/一時停止 設定メニュー:OK
	再生モード:下へ 設定メニュー:下へ		電源ON/OFF

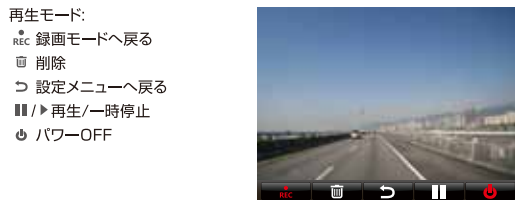
3.6 スクリーン表示内容

- 録画中
- 録画時間
- 音声記録ON/OFF
- 緊急録画表示
- ライト点灯忘れ標識
- 出発遅延標識
- 緊急録画ファイル数
- 録画中の画面
- ボタン表示

3.7 ボタンの機能

- 録画モード:
▲ 緊急録画
≡ 画像再生
⚙️ メニュー
⏏️ モニタ画面OFF
⏻ パワーOFF





4.設定メニュー

黄色枠の設定は工場出荷での設定となっております。また、場合によっては製造ロットにより、お手元の製品の設定はマニュアル表示と異なる場合がございますので、その場合にはお手数ですが、再度設定をご確認ください。

4.1 時刻設定
日付と時間を設定します。

4.2 日付表示
映像に時間表示を書込みします。

4.3 録音設定
録画中と同時に音声記録するかを設定します。

8

4.4 音量設定
システムのボリュームを設定します。

4.5 ボタン音
ボタン操作音のON/OFFを設定します。

4.6 安全走行
4.6.a 初回使用時
初めて使用する際や本体を取り外して再設置した際には録画範囲が適正か確認してから使用を開始してください。

4.6.b 録画範囲の調整
1.本体の角度を調整し、ボンネット等が画面の1/4を超えないように調整します。2.各種機能は撮影画像から判別されますので録画範囲調整が適切である必要があります。

4.6.c 映像位置校正
本製品が初期設定の場合、設定項目の「安全走行」(図1参照)を選択して、「映像位置校正」(図2参照)の項目を押せば、自動的に調整の説明映像(図3参照)が画面に流れます。調整の説明映像が全て終了すると設定画面に入ります。(図4参照)

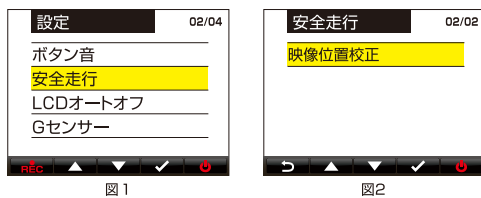


図1

図2

9

4.10 システム言語
メニュー言語を設定します。

4.11 動体検知
動体検知監視機能のON/OFFを設定します。

(※別途外部接続用モバイルバッテリーもしくはバッテリー専用パワーケーブルが必要となります。)

4.12 ビデオ出力形式
ビデオの出力を設定します。

※初期設定はPAL形式となっておりますが、NTSC形式を変更ください。また、本製品は最新HDMI端子を搭載されているため、特に「ビデオ出力形式」には影響起きません。

4.13 フォーマット通知
MicroSDカードのフォーマット通知を設定します。

4.14 SDHCカードをフォーマット
MicroSDHCカードをフォーマットします。

12

4.15 デフォルト設定
各設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります。

4.16 バージョン情報
システムファームウェアのバージョンを表示します。

2014年4月現在のバージョンはVer.4201Aです。

5.録画/再生/削除

5.1 サイクル録画(繰り返し上書き録画)機能
1.電源が投入されると挿入されているMicroSDHCカードに自動的に録画を開始します。2.継続して5分ごとにファイルを作成して録画を続け、MicroSDHCカードの容量が足りなくなる場合に、自動的に古いファイルからを消去し、上書きして録画を継続します。

5.2 緊急録画
1.手動バックアップ(手動録画) 録画中に、「緊急録画」ボタンを押すことにより、リアルタイムに撮った映像を保護スペースに保存されます。2.自動バックアップ(衝突感知自動保存) 衝突などにより衝撃を感知した際に自動的に前後の記録を保護スペースに移動させて上書きによる消去を防止します。3.保護スペースに保存できるファイルは10ファイルまでです。それを越えると録画ファイルの保存ができなくなるので、常に録画ファイル数を確認して、他の場所(パソコンなど)に保存してから削除してください。

5.3 スナップショット
1.録画中に、[] ボタンを3秒押すことにより、スナップショットができます。2.スナップショットして撮った画像はMicroSDHCカード\REC\100MEDIAへ自動保存します。3.スナップショットしたと、[] のアイコンが出て行きます。撮った画像は上書きによる消去を防止されています。

13



図3

図4

設定の仕方(図5/図6参照) 上記データを参考にしながら自分が一番最適な位置に調整を行ってください。 ※車の走行中での設定は大変危険ですので、おやめ下さい。

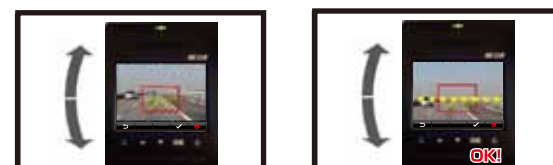


図5

図6

※引き続きで「安全走行」の設定を行ってください。

4.6.d ドライバー疲労警告
ドライバー疲労警告の作動時間を設定します。(オフ/30分/1時間/2時間/4時間)

10

4.6.e ライト点灯忘れ警告
ライト点灯忘れ警告ON/OFFを設定します。

5.4 USBリンクによるファイルの読み取り
1.USBケーブルを用いて、本体とパソコンにリンクさせ、パソコン側に「リムーバブルディスク」として検知されます。2.リムーバブルディスクを開いて、それぞれ「DCIM\100MEDIA」(繰り返し上書きファイル)と「EMERG」(緊急録画)というフォルダがあります。3.必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。

5.5 MicroSDカードからファイルの読み取り
1.本体の電源をパワーOFF以後、MicroSDカードを取り出します。2.MicroSDカードをパソコン側にカードリーダーに挿し込んで、パソコン側に「リムーバブルディスク」として検知されます。3.リムーバブルディスクを開いて、必要とするファイルを選択して、パソコンにコピーします。

5.6 ビデオ・写真の再生/削除
1.録画モードに、[] ボタンを押して、再生リストを表示します。2.再生するファイルを選択します。(通常録画ファイルもしくは緊急録画ファイル)3.ファイルを選択し、再生します。4.[] ボタンを押して削除したい録画ファイルが削除可能。



14

4.6.f 出発遅延警告
ライト点灯忘れ警告ON/OFFを設定します。

4.6.g 制限速度標識警告
ライト点灯忘れ警告ON/OFFを設定します。

4.7 LCDオートオフ
スクリーンタイムアウトの時間を設定します。

4.8 Gセンサー
Gセンサーの録画トリガー強度を設定します。(OFF/低感度/中感度/高感度の4階段)

4.9 EV値設定
EV(露出)値を調整して、適切な露出量を調整します。 *EV(露出)値により映像画質が影響されます。

11

7.GoLife (PCソフトウェア)

7.1 システム要件

OS	Microsoft Windows 7 / VISTA / XP
CPU	Pentium4 2,4GHz以上
メモリ	512MB以上
I/F	SDカードリーダー
推奨ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 8

7.2 ソフトウェアのダウンロード
本製品に専用ビューアソフトは同梱しておりません。お手数ですが、下記のダウンロード先で弊社のGoLifeソフトウェアをダウンロードください。
<http://www.papago.co.jp/golife/golife.zip>
ダウンロードした圧縮ファイルの解凍して、setup.exeというファイルを実行してGoLifeインストールください。インストール後、GoLifeのショートカットがデスクトップに作成され、GoLifeを実行できるようにになります。



- 1.ビデオファイル リスト
- 2.ビデオ再生
- 3.機能リスト

15